

要請番号 (JL63017A01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モザンビーク	G157 日本語教育		個別	新規	2年	・ 2017/3 ・ 2018/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

科学技術・高等教育・職業教育省

2) 配属機関名 (日本語)

モザンビーク セント・トーマス大学

3) 任地 (マプト市) JICA事務所の所在地 (マプト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.2 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

モザンビークの首都にある6大学の一つで、大学名から連想されるような宗教色はない。4年間のコース及びマスターコースについてもカリキュラムを充実させていきたいとしている。主専攻のキャンパスは2州に6校あり、配属先である本校の学生数は4,000人である。年間予算は約2,800万円。また、日本国大使が講演をするなど大使館とも交流があり、親日的な大学である。現在シニア海外ボランティア1名がITコースの充実を図りコース設計をしている。他国の援助としては、イタリアによる言語学院(ランゲージセンター)の設置と教師派遣がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

モザンビークではJICAの知名度の前に日本の知名度も高くない。このような状況の中、大使館の協力を得てランゲージセンターを充実させたいという意向から、日本語コースを立ち上げるべくボランティアの要請がなされた。この国に派遣される最初の日本語教育ボランティアとなる。

また、日本語の授業は当面特別コースとして扱われるが、将来的には単位として認められ、正規の日本語コースとして立ち上げる支援が求められている。現在カウンターパート(C/P)の配置はないが、当国では学生が卒業後講師になることは一般的であり、日本への留学を目指すなど日本語に熱心な学生もいて、将来的にC/Pになっていくと思われる。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

当面20名程度の学習者を対象として以下の活動を行なう。

1. 日本語の授業を担当する。
2. 年間のコース設計を支援する。最終的には4年で日本への留学ができる程度を目指す。
3. 配属先が当地の日本文化発信基地となるよう、近郊他職種のボランティアと協力して、日本文化紹介イベントを企画・実施する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ランゲージセンター(教室のみ)、プロジェクター

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長:男性(50代)

学部長:男性(50代)
学部講師、スタッフは50-60人(30-50代)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
ポルトガル語	ポルトガル語	

【資格条件等】

[免許]：（日本語教授法）	[学歴]：（大卒） 備考：配属先の要望
[性別]：（ ） 備考：	[経験]：（実務経験）2年以上 備考：配属先の要望

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（8～45℃位）	[電気]：（不安定）
[通信]：（インターネット可 電話可）	[水道]：（不安定）

【特記事項】

大学内では英語が比較的通じる。